

# 『日韓複合動詞辞典』の編纂について

—編纂作業における考慮すべき点を中心として—

李 忠 奎\*

(e-mail : ch4229@hanmail.net)

---

## 目 次

---

1. はじめに
  2. 複合動詞辞典の必要性
  3. 複合動詞辞典の編纂作業における考慮すべき点
    - 3.1. 見出し語の範囲
    - 3.2. 意味記述
    - 3.3. 用例の確保
    - 3.4. 品詞の確認
    - 3.5. 類義語の確保
    - 3.6. その他
  4. まとめ
- 

## 1. はじめに

本稿では、『日韓複合動詞辞典<sup>1)</sup>』の編纂に関連して、複合動詞に関する専門の辞書が未だにないという現状を踏まえた上で、一般言語学・対照言語学・日本語教育の分野でも活用できる質の高い辞書を編纂するために、編纂作業の過程における考慮すべき点について具体的な例を提示しながら検討する<sup>2)</sup>。なお、本稿で言う「複合動詞」とは、

---

\* 韓南大学校日語日文学科，時間講師，対照言語学

1) 名称は仮のものである。以下，単に「複合動詞辞典」と呼ぶ場合がある。なお，本稿でいう『日韓複合動詞辞典』とは，その名称からも窺えるように，日本語の見出し語に韓国語の解釈がなされているものを指し，従って，日本語を学習・研究する韓国人を念頭において編纂するものである。

2) 本稿は，韓国日本文化学会第33回国際学術大会(2009年4月25日，於：韓南大)で発表した内容を基に作成したものである。発表の席上において，有益なご教示をして下さった先生方々に厚くお礼申し上げたい。

「洗い上げる」「押し倒す」「見合わせる」のような、一般に「前項動詞(V1)の連用形+後項動詞(V2)」と分析されるものを指す<sup>3)</sup>。

## 2. 複合動詞辞典の必要性

当該の言語について学習または研究を行う際に、その言語について何らかの形で情報を与えてくれる辞書の存在は不可欠なものであろう。日本語について学習・研究する際も例外ではなく、それゆえに、日本語に関する各種辞書が数多く出版されている。例えば、日本語国語辞典類、諺に関する辞典類、擬音語・擬態語に関する辞典類、そして、語源について解説した辞典類などがその例である。しかし、その中に「複合動詞」に関する専門の辞書はない。この点については、既に李暲洙(1997: 328)の指摘した通りであるが、「複合動詞辞典」は未だに日本でも韓国でも刊行されていない。

現在、複合動詞と関連して入手可能なものとしては、筆者の調査した範囲では、野村・石井(1987)の『複合動詞資料集』があるが、これは複合動詞のリストだけを収録したものであり、各動詞に関する意味情報は全く得られないため、日本語の研究において、どのようなV1, V2が生産的に用いられるかなどの情報は得られるものの、意味的な面において役に立つものとは言えない。従って、日本語学習に直接に活かせる辞書としての役割も果せない。

こういう現状を踏まえた上で、一つの例を挙げて、「複合動詞辞典」の必要性について考えてみたい。

- (1) 電源を入れた瞬間、1本のコードが爆弾の導火線のように煙を噴いて焼き切れてしまった。(http://pc.nikkeibp.co.jp 「これまでに自作したパソコンの数は」)

韓国人の日本語学習者が上記の文に出会ったとする。どういう意味なのかを分析する際に、もし「焼き切れる」の正確な意味を確認したい場合は、辞書の意味記述に頼ることになろう。すると、まず、韓国で出版された日韓辞典から引くことになると思われるが、市販の日韓辞典の中に、「焼き切れる」を見出し語として収録したものは調べた範囲では見当たらない。次に、日韓辞典で「焼く」と「切れる」の意味をそれぞれ確認し、「焼く」は「태우다」に対応し、「切れる」は「끊어지다, 절단되다」に対応するので、「焼き

3) 李忠奎(2008, 2009b)などでは、ある条件を付加する上で、V1を「連用形」ではなく「語幹」とみるべきだと主張しているが、本稿ではその点については特に問題としない。なお、本稿は「日韓語の動詞結合に関する対照研究」の一環として行われるものであるため、「動詞+動詞」型の複合動詞がその範囲となる。

切れる」は「태워 끊어지다」になると分析能力を働かせると思われるが、この場合でも「태워 끊어지다」が韓国語としては容認不可能であることにすぐ気づくだろう。すると最終的には、日本で出版された国語辞典の意味記述を参考にするとと思われるが、「焼き切れる」を見出し語として収録したものはなかなか見つけにくい。集英社の『集英社国語辞典』、岩波書店の『岩波国語辞典』(第六版)、大修館書店の『明鏡国語辞典』などの中型辞書はもちろん、大型辞書である『広辞苑』(第六版)、『大辞泉』(増補・新装版)、『大辞林』(第二版)にも収録されていない。筆者が調べた範囲では、唯一『日本国語大辞典』(第二版)に見出し語として収録されているが、日本語を専門的に研究しているわけではない日本語学習者の中に、『日本国語大辞典』(第二版)から「焼き切れる」の正確な意味を確認しようとする者がどのぐらいいるだろうか。このような場合、「焼き切れる」の意味は「태워 끊어지다」ではなく、〈전선 등이 불에 타 끊어지다〉であると教えてくれる複合動詞専門の辞書があれば、日本語学習者に役に立つはずである。

上記の「焼き切れる」は、日本語を専門的に研究する者にとっても興味深い例である。影山(1993, 1999)、影山・由本(1997)は、以下のような「他動性調和の原則(Transitivity Harmony Principle)」と呼ぶ制限を立てているが、これは要するに「外項を持つもの同士」(①他動詞+他動詞, ②非能格自動詞+非能格自動詞, ③他動詞+非能格自動詞, ④非能格自動詞+他動詞)の結合, または「内項を持つもの同士」(非対格自動詞+非対格自動詞)の結合だけを許すというものである<sup>4)</sup>。

## (2) 他動性調和の原則

動詞+動詞の複合において、同じタイプの項構造を持つ動詞どうしが複合される。(影山(1999: 201))

上記の原則に従えば、「外項を持つもの」と「内項を持つもの」の結合, すなわち, ①他動詞+非対格自動詞, ②非能格自動詞+非対格自動詞, ③非対格自動詞+他動詞, ④非対格自動詞+非能格自動詞の結合は容認不可能になる。

この他動性調和の原則については問題点も指摘されているが(松本(1998: 39~50)), 上記の原則に従って「焼き切れる」を分析すると、「焼く」は「他動詞」と分類され、

4) 参考までに、影山(1999: 201)の外項と内項に関する説明を引用しておく。

外項というのは、意味的な動作主(Agent)を指すことが多いが、「台風が木をなぎ倒した」の「台風」のような原因や、「赤ん坊が泣いている」の「赤ん坊」のような経験者(Experiencer)も含んでいる。これに対して、内項は行為や変化を被る対象を指す。

また、影山(1993: 43, 1999: 200~201)によると、動詞は他動詞, 非能格自動詞(意図的に動作を行う動作主(Agent)を主語に取る自動詞), 非対格自動詞(意図を持たず受動的に事象に係わる対象(Theme)を主語に取る自動詞)の3種類に大別され、他動詞が外項と内項の両方を持つのにに対し、非能格自動詞は外項だけを、非対格自動詞は内項だけを取る。

「切れる」は「非対格自動詞」と分類されるので、結果的に「他動詞＋非対格自動詞」の結合となり、他動性調和の原則に反するものとなる<sup>5)</sup>。このような情報も何らかの形で収録することができるのであれば、日本語を専門的に研究する者にも参考になるだろう。

### 3. 複合動詞辞典の編纂作業における考慮すべき点

前節までは、複合動詞に関する専門の辞書がまだないこと、『日韓複合動詞辞典』が必要であることを述べた。本節では、このような現状の中で『日韓複合動詞辞典』を編纂しようとする際、どのような点を考慮に入れるべきかという点について検討する。なお、辞書を新しく編纂する際、参考になる資料が全くない状態では作業が極めて難しくなり、どうしても既存の辞書を参考にする場合があると思われるが、本稿においても、基本的には以下の辞書から得た複合動詞に関する情報が基礎資料として参考になったことを断っておく。

- (3)a. 『시사 엘리트 일한사전』(2001, YBM時事英語社, 韓国出版)
- b. 『옛센스 일한사전』改訂新版(1989, 民衆書林, 韓国出版)
- c. 『프라임 일한사전』(2005, 두산동아, 韓国出版)
- d. 『集英社国語辞典』(1993, 集英社, 日本出版)
- e. 『新明解国語辞典』第五版(1997, 三省堂, 日本出版)
- f. 『大辞泉』増補・新装版(1998, 小学館, 日本出版)
- g. 『大辞林』第二版(1999, 三省堂, 日本出版)
- h. 『明鏡国語辞典』(2003, 大修館書店, 日本出版)

#### 3.1. 見出し語の範囲

まず、どこまでを見出し語とするかという見出し語の範囲の問題が挙げられる。この問題は、意味を確認したい複合動詞に出会った場合、市販の日韓辞典などではそのことを簡単に解決できないことから起因するものである。

- (4)a. さるはかにさんからなんとかおにぎりをだまし取ろうと考え、「やあ、かにさん、こんにちは。ここでわたしと出会ったのは幸運ですよ。(後略)」(初級11:34)
- b. 人々が通った後には、ひがん花が踏み折られていました。(初級10:44)
- c. 畑へ入っていもを掘り散らしたり、菜種がらの干してあるのへ火を付けたり、百姓家の裏手に吊るしてあるとんがらしをむしり取って行ったり、いろんなことをしました。(初級10:32, 34)

5) ちなみに、「焼き切れる」は「焼き切る」(他動詞＋他動詞)からの逆形成(backformation)だと思われる。影山(1999:202)を参照されたい。

(4)の「騙し取る」「踏み折る」「掘り散らす」は、『다락원 사다리 일본어』の初級シリーズから選び出したものであるが、これらの正確な意味を確認しようとしても、韓国で出版されたYBM時事英語社の『시사 엘리트 일한사전』, 民衆書林の『옛센스 일한사전』(改訂新版), 두산동아의『프라임 일한사전』などでは、見出し語として収録されていないため、その意味をすぐ把握することができない。もちろん、V1とV2のそれぞれの意味を確認し、それらの意味から分析能力を働かせれば、その全体の意味は把握できるだろうが、見出し語として収録した場合と比べると、手間がかかるのは明らかなことであろう。上記の3つの辞書は、複合動詞に関する専門のものではないので、より多くの複合動詞を見出し語として収録していないことは容易に理解できる。しかし、複合動詞に関する専門の辞書になれば、(4)の例のような初級レベルで出会えるものはもちろん、なるべく数多くの見出し語を収録して、当該の複合動詞の意味を確認しようとする(日本語学習者及び日本語研究者などの)読者のニーズに対応するのが望ましい。

「なるべく数多くの見出し語」と言った場合、以下のような、いわゆる「統語的複合動詞」の問題も考慮に入れるべきであろう。

- (5) ~合う, ~飽きる, ~あぐねる, ~誤る, ~得る, ~終える, ~遅れる,  
 ~終わる, ~掛ける, ~兼ねる, ~切る, ~過ぎる, ~損なう, ~そびれる,  
 ~損じる, ~出す, ~尽くす, ~付ける, ~続ける, ~通す, ~直す,  
 ~慣れる, ~抜く, ~残す, ~始める, ~まくる, ~忘れる(影山(1993:96))

通常、これまでの辞書は、(5)に挙げた「統語的複合動詞」をいちいち見出し語として収録することはしなかった。なぜなら、少し工夫することで、数多くの複合動詞が処理できたからである。例えば、「始める」をV2とする複合動詞は、『複合動詞資料集』に収録されているリストだけでも399語もあるが、それらは例外なくすべて「~하기 시작하다」と解釈される。すると、見出し語「始める」の所に「(동사의 연용형에 붙어) ~하기 시작하다」程度の解釈をしておけば、「踊り始める」「食い始める」「飲み始める」などの意味が分かるようになり、これらを収録しなくても済んだのである。

今まで出版された辞書が複合動詞専門のものではなかったので、上記のような処置は十分理解できる。しかし、複合動詞に関する専門の辞書となれば、(5)に挙げた「統語的複合動詞」もなるべく数多く収録した方がよいと筆者は考えている。このように考える理由は、例えば、「抜く」をV2とする複合動詞を数多く収録しておけば、「抜く」の前に立つ動詞がどういう性格を持つものなのか、つまり、他動詞は立つのか、非能格自動詞・非対格自動詞は来るのか、あるいは、V1に立つことのできない動詞類はどのようなものがあるのかなどを調査する際に役に立つと思われるからである。

筆者の調査によると、YBM時事英語社の『시사 엘리트 일한사전』には、「V1の

連用形＋V2」型の複合動詞が2319語収録されているが、『複合動詞資料集』には7432語のリストが載っているため、基本的には『複合動詞資料集』のリストを念頭において見出し語の範囲を設定するのの一つの方法になると思われる<sup>6)</sup>。

## 3.2. 意味記述

次に、『日韓複合動詞辞典』の編纂作業において考慮すべき点として、意味記述に関するものが挙げられる。これは、大きく「古語の意味処理」と「意味の詳細化」という観点から考慮する必要がある。

### 3.2.1. 古語の意味処理

既存の辞書における複合動詞に関する意味記述を見てみると、現代語としては使わないと思われる意味までを収録した場合がある。

- (6)a. 打ち殺す：⑤전당잡시다. (『엘리트』)
- b. 打ち過ぎる：③어떤 장소를 지나쳐서 가다. (『엘리트』)
- c. 覆い被せる：②(상대방이 말하지 못하도록) 곧 계속하다. 곧 잇달아 말하다. (『엘리트』)
- d. 思い続ける：③감회를 노래 형식으로 표현하다. (『엘리트』)
- e. 差し合う：④서로 말다툼하다[싸우다]. (『프라임』)
- f. 沸き立つ：④발효하다. (『엡센스』 『엘리트』)

複合動詞の中には、複数の意味を有するものが数多くあり、その複数の意味の中には、意味消滅などの歴史的な変化によって現代語としては使わない意味が含まれている場合があり得る。その場合、それらの意味に関しては適切な処置を取るのが望ましい。既存の辞書では、〈古〉とか(文)といった表示で、古(文)語の意味であることを示しているが、このような表示は、現代語としては使わない意味であることを教えてくれるので大いに参考になる。ところが、(6)に挙げた各動詞における意味は、現代語としては使わないものにもかかわらず、そのことが確認できる表示がなされていない。そうすると、例えば「打ち殺す」の⑤番の意味を参考にした日本語学習者が「결혼반지를 전당잡혔다」という文を日本語で「結婚指輪を打ち殺した」に翻訳する可能性が全くないとは言えない。当該の韓国語の文は、「結婚指輪を質に入れた」と翻訳され、この場合、現代日本語では「打ち殺す」という複合動詞は使われない。従って、現代語として使わない意味に関して

6) この際、YBM時事英語社の『시사 엘리트 일한사전』と『複合動詞資料集』に収録されている複合動詞の中には、例えば「有り合う」「居こぼれる」「引っ食う」など、現代語としては使わないものも数多く含まれているので、もし、『日韓複合動詞辞典』の見出し語を現代日本語と限定するのであれば、これらの例をどのように処理するかという問題も考慮に入れるべきであろう。

は、何らかの形で適切な処置を取るべきであり、考えられる処置としては、既存の辞書のように、〈古〉といった表示をするか、もしくは、その意味を削除などが挙げられる。前述した通り、本稿で議論する『日韓複合動詞辞典』は、日本語を学習・研究する韩国人を念頭において編纂するものであり、日本語学習者が日本語研究者より圧倒的に多いことを考慮すると、現代語として使わない意味は削除する方がいいのではないと思われる<sup>7)</sup>。

### 3.2.2. 意味の詳細化

既存の辞書における複合動詞に関する意味記述を見てみると、その意味記述をより詳細にするのが望ましいと思われる例が見られる。

- (7)a. 両チーム無得点のまま0対0で前半を折り返した。
- b. 映画の掲示板には、もう少しストーリーを刈り込んだ方がいいという指摘があった。
- c. このパソコンは立ち上がるのがとても速い。

日本のテレビなどでスポーツニュースを見ていると、(7a)の「折り返す」という複合動詞を頻繁に聞くことができる。(7b)の「刈り込む」と(7c)の「立ち上がる」も上記の文脈で用いられるのに特に問題ないと思われる。ところが、これらの意味を正確に捉えようとしても、(3)の韓国で出版された辞書の意味記述からでは明確な答えを導くことができない。この場合、既存の意味記述に以下のような意味記述が加わっていれば、(7)の各文を理解するのに大いに役立つだろう。

- (8)a. 折り返す：축구 등 전·후반으로 나뉘어진 경기에서 전반전이 끝나고 후반전으로 들어가다.
- b. 刈り込む：문장의 불필요한 부분을 삭제하다.
- c. 立ち上がる：컴퓨터 등과 같은 기기(機器)가 가동(稼動)되다.

従って、意味記述をより詳細にすることも編纂作業において考慮すべき重要な課題になると言えよう。なお、既存の意味記述に新しい意味を追加するためには、当該の意味が「意味としての市民権を得る」という条件を満たす必要があることは言うまでもない。

### 3.3. 用例の確保

次に、用例の確保も考慮すべき重要な点として挙げられる。なぜなら、既存の辞書で複

---

7) 当該の意味が現代語として使わないものであるかどうかをどう判断するか、明確に判断できるかという問題も考慮すべきである。しかし、既存の意味がある時点で急に消滅することはあり得ないので、この判断は極めて難しい面がある。

合動詞の見出し語を見てみると、意味記述がなされているだけで、用例がないものが多数見られるが、これは決して望ましいことではないからである。

- (9)a. 上がり込む：(남의 집에) 마구[엄치없이] 들어가 았다.  
 b. 言い伝える：①후세까지 말로 전하다. ②전언하다. ③말을 퍼뜨리다.  
 c. 見定める：보고 확인하다[확정하다]. 확실히 보다.

(9)は、YBM時事英語社の『 시사 엘리트 일한사전』から意味記述だけがなされている幾つかの見出し語を挙げたものであるが、(9b)の「言い伝える」の場合は、意味が3つに分かれているだけで用例は一つもない。このままでは、これらの例の使い方が明確には捉えにくいという点で不十分と言わざるを得ない。用例をどのぐらい収録すればよいのかという問題はあろうが、少なくとも以下のように、幾つかの用例を収録するだけでも、参考資料としての価値は上がるだろう。なお、筆者の判断により意味記述に若干の修正を加えた。

- (10)a. 上がり込む：남의 집에 엄치없이(거리낌없이) 들어가 았다. 『会社から戻ってみると、見知らぬ男が家に上がり込んでいた / どんな用件があろうとも他人の家に勝手に上がり込むのは非常識だ。』  
 b. 言い伝える：①후세까지 말로 전하다. 구전하다. 『この村には古くから言い伝えられてきた物語がある / 我々は国の悲惨な過去を次の世代に言い伝えるべきだ。』 ②말로 전하다. 전언(伝言)하다. 『毎日、今後の予定を言い伝える現場監督 / 計画の変更を全メンバーに言い伝えておいた。』  
 c. 見定める：끝까지 확실히 보고 판단하다. 『きちんと現状を見定めてから対策をとりたい / 面接候補者の経験や見識、姿勢、そして何より人柄を見定めた上で採用することにした。』

十分な用例を確保するためには、小説などの文学作品、新聞、ニュースなど様々な資料から豊富な用例を採集する作業が必要となる。

### 3.4. 品詞の確認

編纂作業においては、辞書によって複合動詞の品詞記述が異なっている場合があるため、品詞の確認も考慮する必要があると思われる。

	リスト	엘리트	앳센스	프라임	明鏡	新明解	集英社
①	切り殺す	自五	他五	他五	×	他五	×
②	括し上げる	自五	他下一	他下一	×	×	×
③	畳み掛ける	自下一	自下一	自他下一	他下一	自下一	自下一
④	畳み込む	他五	他五	他五	他五	他五	他五

⑤	振り返る	自五	他五	他五	他五	自五	他下一
---	------	----	----	----	----	----	-----

注：「×」は当該の辞書に見出し語として収録されていないことを意味する。また、(3)に挙げた辞書のうち『大辞泉』と『大辞林』は、品詞記述がなされていないということで除外してある。

上の表は、品詞の確認が必要な幾つかの例を挙げたものである。少し詳しく見てみると、まず、①の「切り殺す」は、『옛센스 일한사전』(改訂新版)、『프라임 일한사전』、『新明解国語辞典』(第五版)では「他動詞」となっているが、『시사 엘리트 일한사전』では、「自動詞」となっている。「切り殺す」は「激怒した彼は自分の部下を切り殺してしまった」のように対象を「を格」で取る「他動詞」である。すると、『시사 엘리트 일한사전』の品詞記述に問題があることになる。

次に、②の「括し上げる」の場合は『옛센스 일한사전』(改訂新版)と『프라임 일한사전』には「他動詞」になっているが、『시사 엘리트 일한사전』では「自動詞」になっている。「括し上げる」は、V1「括す」もV2「上げる」も「他動詞」なので、「括し上げる」全体も「他動詞」であると考えられる。すると、『시사 엘리트 일한사전』の品詞記述を修正する必要があるが、「括し上げる」は「五段動詞」ではなく「下一段動詞」であることが明らかなので、この点からも修正は避けられないであろう。ただし、「括し上げる」が現代語として用いられることはあまりないと思われるので、『日韓複合動詞辞典』の見出し語として収録する場合は、この点も明確にする必要があるだろう。

次に、③の「畳み掛ける」の場合は、表の全ての辞書において＜相手に考えたり反対したりする時間を与えず、次から次へと一方的に働きかける＞(『新明解国語辞典』(第五版))という意味のみ収録されているが、品詞の記述においては相違が見られる。他の辞書では「自動詞」となっているが、『프라임 일한사전』では「自他動詞」となっており、『明鏡国語辞典』では「他動詞」となっている。「畳み掛ける」は、例えば「畳み掛けて質問する」(『集英社国語辞典』)、「畳み掛けて攻撃(尋問)する」(『大辞林』(第二版))のような言い方をし、このように用いられる場合は、対象を「を格」で取らないので「自動詞」であると考えられる。しかし、「畳み掛ける」にはもう一つの意味があって、それは＜たたもつとする。たたみ始める＞(『大辞泉』(増補・新装版))という意味である。この意味からでは「洗濯物を畳み掛けてやめる」(『大辞泉』(増補・新装版))のような言い方が可能であり、対象を「を格」で取るので「他動詞」であると考えられる。以上のことを総合すると「畳み掛ける」は二つの意味があり、品詞は「自他動詞」となる。『日韓複合動詞辞典』では「畳み掛ける」の項目にこの考察結果を十分に反映すべきであろう。

次に、④の「畳み込む」の場合は、表の全ての辞書において「他動詞」となっているので、特に品詞記述において相違は見られない。しかし、『明鏡国語辞典』と『新明解国語辞典』(第五版)の意味記述をよく見ると、③の「畳み掛ける」と類似の意味があることが分かる。「畳み込む」に＜相手に余裕を与えないように、続けざまに行う＞(『明鏡国

語辞典』) という意味があり、「叩き込んで質問する」(『明鏡国語辞典』)のような用例が確認できるのである。先に④の「畳み掛ける」が「畳み掛けて質問する」のように使われる場合は「自動詞」としたが、すると「叩き込んで質問する」における「畳み込む」も「自動詞」として処理するのが一貫した処置になる。もし、「畳み込む」に「自動詞」としての用法を認めることができるのであれば、最終的に「畳み込む」は「畳み掛ける」と同じく「自他動詞」となる。

最後に、⑤の「振り返る」の場合は、他の辞書では「他動詞」となっているが、『시사 엘리트 일한사전』と『新明解国語辞典』(第五版)では「自動詞」となっている。「振り返る」は、「後ろ(学生時代)を振り返る」(『明鏡国語辞典』)のように対象を「を格」で取るので「他動詞」と考えられるが、『시사 엘리트 일한사전』と『新明解国語辞典』(第五版)とでは「自動詞」として処理しているので、品詞記述に不一致が生じるわけである。このような例がある以上、品詞の確認も編纂作業において考慮すべき重要な点になると考えられる<sup>8)</sup>。ちなみに、筆者の調査では、上の表にある辞書を対象に調べたところ、品詞記述の不一致が確認できた見出し語は、計154語もあった。この154語に関しては、機会を改めてより詳細な分析を行う予定である。

### 3.5. 類義語の確保

もし、各見出し語が類義語を持っていれば、それらをできるだけ数多く収録することもよりよい辞書を編纂するために必要であろう。

- (11)a. 言い負かす: 말로 상대편을 누르다[꺾다]. 설복시키다. = 言い伏せる・  
言い破る  
b. 追い払う: 쫓아 버리다. 내쫓다. = おっばらう  
c. 押し量る: 추측하다. 헤아리다. 짐작하다.  
d. 取り去る: 집어 없애다. 제거하다. 철거하다. = 取りのぞく

(11)は、『프라임 일한사전』の幾つかの見出し語とその意味記述を挙げたものであるが、各見出し語の類義語を以下のように提示してくれれば、参考になる場合があるはずである。

- (12)a. 言い負かす: 말로 상대편을 누르다[꺾다]. 설복시키다.  
= 言い勝つ・言い伏せる・言い破る・説き伏せる・遣り込める

8) 当該の動詞が他動詞か自動詞かの認定はいつも明確にできるとは限らない。そこで、加藤(2006: 31)は、「対象らしさ、対象への作用、対象の個性性、意志性、実現能力などを含めて、他動性という尺度を導入し、典型的な他動詞と自動詞の間にいくつかの段階を想定するのが現実的な対処と言えるだろう」と指摘しているが、このことを『日韓複合動詞辞典』に反映することは簡単なことではない。

- b. 追い払う：쫓아 버리다. 내쫓다.  
= 追い出す・追い立てる・追っ払う・追いやる
- c. 押し量る：추측하다. 헤아리다. 짐작하다.  
= 押し当てる・思い遣る・汲み取る・汲み分ける
- d. 取り去る：집어 없애다. 제거하다. 철거하다.  
= 取っ払う・取り捨てる・取り除ける・取り除く・取り払う

類義語間の共通点と相違点が以下の表のような形で提示できれば、よりよい資料になると思われるが、ここまでではできないとしても、(12)のように類義語を挙げるだけでも、類義語に関する研究などにおいて十分参考にはなるだろう。なお、以下の表は『ちがいがわかる類語使い分け辞典』(2008：77)から引用したものである(示し方は若干修正あり)。

表現例	追い出す	追い払う	追い立てる	追いやる
何度－でも戻ってくる	－し○	－っ○	－て○	－っ○
下宿を－れる(られる)	－さ○		－て○	
中にいれず入り口で－		○		
子供を－て学校に行かせる			－て○	
閑職に－れる				－ら○

### 3.6. その他

本稿では『日韓複合動詞辞典』の見出し語を一般に「V1の連用形+V2」と分析されるものに限定して議論を行ってきたが、もし、見出し語をこのように限定しないのであれば、以下のような例も見出し語の候補として十分考慮する価値のあるものとして挙げられる。

- (13)a. 金太郎も真正面から相手の攻撃を受けて立った。  
b. 坂本総理は、総理就任と同時に解散総選挙に打って出た。  
c. 先生に食ってかかるのは、決してやってはいけないことだ。  
d. 多くの職場では既に電子メールがファックスに取って代わっている。  
e. 私の表情を見て取った彼は「やっぱり、だめか」と言った。  
f. 日本の研修生が遣ってきて、もう二週間が過ぎちゃった。  
g. 佐々木先生は火の打ち所がない演奏を遣ってのけた。

(13)に挙げた例が「V1の連用形+V2」の例と区別される最大の特徴は、V1とV2の間に {－て} という要素が介在するという点であるが、これらの例は、二つの動詞の単純結合である「句」と、V2の意味が後退化するという特徴を有する「補助動詞結合」とは性質を異にするものなので、「複合動詞」の資格を有するものとして扱うことができると考えられる<sup>9)</sup>。もし、「複合動詞」と認定することに特に問題がないのであれば、当然『日韓

『複合動詞辞典』の見出し語の対象となり、また、今まで(13)の例については注目することがあまりなかったので、その点からでも十分検討する価値があるだろう。

#### 4. まとめ

以上、『日韓複合動詞辞典』の編纂作業に関連して、複合動詞に関する専門の辞書が未だにないという現状を踏まえた上で、編纂作業の過程における考慮すべき点について具体的な例を提示しながら検討を行った。

本稿では、筆者が実際に編纂作業を実施し、その過程で気づいた点を中心に議論を行ったが、より質の高い辞書を編纂するためには、本稿で指摘した点以外にも送り仮名の問題など数多くの課題が残っている。また、筆者一人で作業を行うことがどれだけ大変なことかも実感している。今後、山積みされている課題を一つ一つ解決していく予定であり、本稿で述べたことを十分に生かし、完成度の高い『日韓複合動詞辞典』を誕生させたい。

#### 【参考文献】

- 李暲洙(1997)「日・韓両語の複合動詞に関する対照研究—文法的複合動詞を中心に—」  
 広島大学大学院教育学研究科日本語教育学専攻博士学位論文
- 李忠奎(2008)「日韓語の複合動詞形成システムの相違—対義語同士の組み合わせを中心に—」『国語国文研究』第134輯, 1-17, 北海道大学国語国文学会
- \_\_\_\_\_(2009a)「『日韓複合動詞辞典』の編纂について」『韓国日本文化学会第33回国際学術大会予稿集』29-33, 韓国日本文化学会
- \_\_\_\_\_(2009b)「日韓語の動詞結合の対照研究—「食べる/먹다」をV2とする例を中心に—」『日本文学報』第四十一輯, 17-38, 韓国日本文化学会
- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房
- \_\_\_\_\_(1999)『形態論と意味』くろしお出版

9) その根拠をより明確な形で提示すべきであるが、本稿ではそこまでの余裕がないため、それについては稿を改めて論じることとする。

- 影山太郎・由本陽子(1997)『語形成と概念構造』研究社出版  
加藤重広(2006)『日本語文法 入門ハンドブック』研究社  
野村雅昭・石井正彦(1987)『複合動詞資料集』国立国語研究所  
松本曜(1998)「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」『言語研究』第  
114号, 37-83, 日本言語学会

## 【辞典類】

- 『시사 엘리트 일한사전』(2001) YBM時事英語社  
『옛센스 일한사전』改訂新版(1989) 民衆書林  
『프라임 일한사전』(2005) 두산동아  
『岩波国語辞典』第六版(2000) 岩波書店  
『広辞苑』第六版(2008) 岩波書店  
『集英社国語辞典』(1993) 集英社  
『新明解国語辞典』第五版(1997) 三省堂  
『大辞泉』増補・新装版(1998) 小学館  
『大辞林』第二版(1999) 小学館  
『ちがいがわかる類語使い分け辞典』(2008) 小学館  
『日本国語大辞典』第二版(2001) 小学館  
『明鏡国語辞典』(2003) 大修館書店

## 【参考資料】

- 다락원 출판부(1999)『다락원 사다리 일본어』初級1~20, 다락원

## 要 旨

当該の言語について学習または研究を行う際に，その言語について何らかの形で情報を与えてくれる辞書の存在は不可欠なものであろう。日本語について学習・研究する際も例外ではなく，それゆえに，日本語に関する各種辞書が数多く出版されている。しかし，その中に「複合動詞」に関する専門の辞書は日本でも韓国でも見られない。

そこで本稿では，日本語を学習・研究する韩国人を念頭においた『日韓複合動詞辞典』の編纂に関連して，一般言語学・対照言語学・日本語教育の分野でも活用できる質の高い辞書を編纂するために，編纂作業の過程における考慮すべき点について具体的な例を提示しながら検討を行った。より具体的には 6 つの観点，すなわち，①どこまでを見出し語とするかという見出し語の範囲の問題，②「古語の意味処理」と「意味の詳細化」という観点からみた意味記述の問題，③用例の確保の問題，④品詞の確認の問題，⑤類義語の確保の問題，⑥その他という観点から既存の辞書の問題点を指摘し，それらの修正案もあわせて提示した。

質の高い辞書にするためには，本稿で言及した点以外にも数多くの課題が残っているが，少なくとも本稿で述べたことが十分に生かされれば，一定の完成度を持つ『日韓複合動詞辞典』の誕生も無理なことではないと思う。

キーワード： 複合動詞，複合動詞辞典，見出し語，意味記述，品詞，類義語

투 고 : 2009. 8. 31  
1차 심사 : 2009. 9. 12  
2차 심사 : 2009. 9. 26